

【事業報告書】

HKFA 審判委員会 女子部

- 事業名： 都道府県女子審判トレセン女子審判員女子審判員講演会
 - 開催日時： 2019年12月8日（日）
 - 場所： 札幌サンプラザ2F 平安の間
 - 講師： 手代木 直美氏（女子1級審判員・国際女子副審）
 - スタッフ： 女子部（大岩・宮武・勝谷・大石・蝦名）
 - 参加者： 21名（北海道内子審判員、インストラクター等）
- スケジュール：
- 9：30 受付開始
 - 10：00 講師紹介
 - 10：10 講演（90分程度）
 - 11：40 質疑応答
 - 12：00 写真撮影・解散



手代木直美 氏 来歴

出身地：北海道 清水町

審判歴：1997年 4級審判員取得
1998年 3級審判員取得
1999年 2級審判員取得
2006年 女子1級審判員取得
2013年 国際審判員登録



主な国際大会：2013年 AFC U-16女子選手権中国2013
2013年 AFC U-19女子選手権中国2013
2014年 AFC 女子アジアカップベトナム2014
2015年 FIFA 女子ワールドカップカナダ2015
2015年 AFC U-19女子選手権中国2015
2016年 第31回オリンピック競技大会（リオデジャネイロ）
2018年 FIFA U-17女子ワールドカップウルグアイ2018
2019年 FIFA 女子ワールドカップフランス2019

<講演会の様子>



<参加者のコメント>

○今回の講演会に参加したのですがまだ3級になったばかりなので、いまいち国際級審判の内容やどんなトレーニングをするのがパツとしていませんでした。でも、私が考えていた以上につらいと同時に達成感もあるということがわかりました。

これからもっと上の級を目指していつかは手代木さんを越えられるように頑張りたいです。

○今回、手代木直美さんの講演会に参加させて頂きました。W杯やオリンピックなどの世界舞台に立たれた経験談を聞いていつか自分もその舞台に立ってみたいと強く思いました。そのために様々なことにチャレンジし続け失敗を恐れない姿に感銘を受けました。手代木さんのような挑戦を辞めず、自分に自信を持てる審判員をこれからも目指していきたいと思います。

○この度、手代木さんが実際にW杯や五輪で感じた審判員としての重圧・苦しさをお話しいただきました。加えて、手代木さん自身の「努力に勝るものはない」という強い思いや、家族や職場などの支えがあったからこそ、大舞台でも自分の実力が発揮できたのだと感じました。今後、自分も同様の気持ちを強く持ち、また、支えていただける方に「応援したい」と思ってもらえる存在を目指して、今後の審判活動に励んでいきます。貴重なご講演でした。

○W杯やオリンピックなど世界の主要大会の舞台に立った手代木さんの見ているものや感じていることを少しだけ垣間見ることができて大変貴重な時間となりました。重圧や恐怖をたくさん経験されても投げ出さずに貫き通す強さが本当に素敵で、”ミスしたものはミスした場所でしか取り返せない”という言葉が印象的でした。

またお会いできる日を楽しみに自分にできることを精一杯がんばりたいと思いました。

■まとめ（報告者 蝦名 隆幸）

今回の講師には、北海道出身・国際副審で活躍されている手代木直美さんをお招きし、これまでの経験、特に昨年度参加された2015・2019と2度にわたる女子ワールドカップや・2016リオデジャネイロオリンピックでの活動のようすなど、映像や写真を交えて熱く語って頂きました。

講演会に際しまして、冒頭の御挨拶を鈴木会長よりいただき、講演会が開始されました。

晴れやかな表舞台の裏には、普段の心身両面に関する地道なコンディショニングづくりが大切なことはもちろん、手代木さんにとって故郷であるこの北海道で、1級審判員になるまで苦勞されたこと、自ら切り拓いてきたことなど、それらの経験がすべてつながっていることであるというお話をいただき、参加された現役審判員にとって良い刺激となりました

特に印象的だったフレーズは、“辞めるのは簡単だけれども、続けるのは難しい。難しい道を選んだ方が人は成長できる。”です。多くの人々の心に刺さる言葉であったと思います。

また、ご講演の最中には参加者の中に感極まって涙ぐむ人が続出し、感動の雰囲気の中、ご講演がすすめられていて、とても充実した講演会となりました。

手代木さんが、これから益々活躍されることを祈念申しあげるとともに、北海道の女性審判員の活動が今以上に活性化されることを期待しております。

最後になりますが、2019年度の女子部事業にご協力頂きました関係者の皆様には、この場をお借りしまして心より感謝申し上げます。次年度もご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。